



関宮学園

学校だより4号

R7. 4. 15

校訓「敬・愛・信」

「命は一つ」「出会いは奇跡」

私は、この言葉を大切にしています。人は一人ひとり尊い存在です。生まれてくること自体が奇跡です。そして、その尊い人と出会えることも奇跡です。そう考えると、人との出会いに感謝しなければいけません。

このことは、昨年度の学校だよりでも次のように記載しました。「偶然、同じ時代に生まれ、同じところに住んでいる子どもたちが、1つの教室で学びます。さまざまな偶然が重なり合って、今こうして、奇跡的にクラスメイトになっています。人が一生に出会える人は限られています。あなたの隣の席の人は、尊い尊い奇跡の人です。」

今年度は、武田双雲（書道家）さんの著書『ポジティブの教科書』の「僕らが出会う確率」から引用させていただきます。

「僕らはみな両親から生まれました。その両親にも必ず両親がいます。その両親にもそれぞれ両親がいます。10世代さかのぼるだけで1024人です。20世代で104万8576人。40世代で1兆995億1162万7776人。この中で1人の人生がちょっと変わるだけで、今の自分はいないのです。」

また、後期課程の保健室前には、養護教諭が次の言葉を掲示しています。「人間は一生のうち 逢うべき人には 必ず逢える しかも一瞬早すぎず 一瞬遅すぎないときに」森信三(哲学者 教育者)

こうして関宮学園の子どもたちが結びつけてくれた家庭、地域、教職員の縁を大切にしていきたいと思います。

春の交通安全運動

新学期が始まり、1週間が経ちます。満開の桜の中、元気いっぱいの挨拶をして、子どもたちが登校してきます。1年生の歩く速度に合わせ、いつもよりゆっくり歩く上級生、1年生に道を譲る中学生の姿を見て、子どもたちのやさしさに感心し、1年生から9年生までがともに育つ義務教育学校のよさを実感しています。

保護者の皆様、地域の皆様にも朝早くから登校の見守りをしていただき、ありがとうございます。

子どもたちには、「命は一つ。交通事故に注意しましょう。」と話しています。

給食が始まりました

7～9年生は9日、2～6年生は10日、1年生は14日から給食が始まりました。

養父市外から転入された方から、「養父市の給食は美味しい」とよく聞きます。実際、2018年の第13回全国学校給食甲子園で、養父市学校給食センターが優勝し、日本一に輝きました。ちなみに、兵庫県は過去3回優勝校を出した給食激戦区です。

先日、あるテレビ番組で、学校給食が取り上げられていました。

給食の始まりは、1889年の山形県で、メニューはおにぎりや焼魚、漬物だったそうです。それ以来、学校給食は、子どもたちが食に関する正しい知識と食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。栄養士が栄養のバランスを考え、健康な体づくりに寄与しています。日本の学校給食は、海外からも視察にくるほどで、日本が世界に誇る財産です。

ところで、昨今の米不足の影響を受けて、養父市でも、給食用のお米の確保に困難を極めたと聞き及びました。養父市教育委員会のご尽力と、養父市の子どもたちを想う事業者のご協力により、引き続き米飯が提供いただけることになり、この問題を回避できました。関係者の皆さんに感謝申し上げます。子どもたちには、給食が食べられることは当たり前ではなく、多くの皆さんのおかげであることを伝え、感謝して食べるよう指導したいと思います。給食センターの皆さん、いつもありがとうございます。

私が小学生の頃は、パンが基本で、途中から米飯給食が始まりました。まだ牛乳はビンで、牛乳当番は重い牛乳ケースを運ばなければいけませんでした。今ではメニューからなくなりましたが、クジラの竜田揚げもよく出ていました。給食は、どの世代でも共通して話せる内容です。ご家族で給食談義も楽しいかもしれません。

6月以降の主な行事予定 *詳細は関宮学園ホームページをご覧ください

6月2日(月)～6日(金) 5年生自然学校 8年生トライやる・ウィーク

7月18日(金) 1学期終業式

8月24日(日) 第2回資源回収 奉仕作業

8月25日(月) 2学期始業式

9月20日(土) 運動会

11月1日(土) 学習発表会 文化祭

11月16日(日) 第3回資源回収

12月24日(水) 2学期終業式

1月7日(水) 3学期始業式

3月10日(火) 卒業証書授与式

3月19日(木) 前期課程修了証書授与式

3月24日(火) 修了式